

事務事業評価調書

事務事業名	下水道使用料事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和41年度	改正内容	下水道使用料金の改定(消費税率改正に伴うもの)											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	下水道法・吹田市下水道条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総会計の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内の公共下水道の使用者											
	目標(どうい状態にしたいのか)	市内の公共下水道使用者から排除される汚水量に応じて下水道使用料を算出し徴収する。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	下水道使用料を適正に徴収し、下水道事業における維持管理に充て、安定的な事業の運営を図る。												
(7) 事業概要	下水道使用料は、公共下水道の使用者から排除される汚水量に応じて徴収し、下水道事業の維持管理に係る経費の一部に充て、安定的な事業の運営を図る。下水道使用料の調定、減免、徴収及び精算に関する事務については、「水道事業管理者に権限を委任する規則」に基づき、水道部へ委託している。 平成29年度より企業会計に移行													
(8) H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		258,649	197,996	224,969	209,704	0							
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00							
		人												
	総額(B)		7,956	7,588	7,932	7,832	0							
	千円													
	総事業費(A+B)		266,605	205,584	232,901	217,536	0							
	特定財源(C)		266,605	205,584	232,901	217,536	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	266,605	205,584	232,901	217,536	0							
	市負担(D)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		266,605	205,584	232,901	217,536	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 水道部											
			②											
			③											
	主な委託内容		調定、減免、徴収及び精算に関する事務											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 市内の公共下水道使用者から排除される汚水量に応じ下水道使用料を算出し徴収する。	目標値	(単位:件)	839,453.00	862,768.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	830,555.00	710,786.00		
			達成度(%)		98.9	82.4		
	目標値の積算方法	下水道使用料に係る調定件数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.25	0.31	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	下水道使用料を徴収する。			目標	平成28年度は862,768件、5,092,924,112円を目標とした。		
	成果内容	下水道使用料を徴収し、下水道事業の維持管理費に充当する。			達成状況	平成28年度は710,786件、4,239,311,043円の資金を集め、維持管理費に充当した。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>下水道使用料は主に上水道の使用水量をもとに算出しており、水道部において使用水量を検針していることから、水道料金と下水道使用料を一括して計算するとともに、徴収等を行うことで効率化が図れていると判断します。また、水道料金と合わせて徴収することにより徴収率も高い値を維持しており有効性が高いものと判断します。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>						

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	下水道使用料事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00755				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00755
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each criterion:</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当性: 15 有効性: 10 効率性: 5 公平性: 5 持続可能性: 5 		
(3)現状分析	<p>下水道使用料は事業の運営上、維持管理経費の主要な財源であり、その徴収、調定等については水道部に委託しています。 水道部において水道料金と合わせて徴収することで、効率的な徴収を図り安定的に維持管理事業を運営しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	受益者負担金事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和48年度	改正 内容	吹田都市計画下水道事業受益者負担に関する条例から吹田市下水道事業受益者負担に関する条例に 名称変更。条例内容等は変更なし。											
(2)	直近の改正	平成17年度													
(3)	根拠法令等	都市計画法、吹田市下水道事業受益者負担に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共下水道が整備される地域の土地所有者等。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	公共下水道が整備されることにより、その利益を受ける土地所有者等に下水道建設事業費の一部負担を求め、下水道整備の進捗を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共下水道が整備されることにより、生活環境が向上し、土地の利用価値が高まる。													
(7)	事業概要	下水道整備には多額の事業費(公費)が投入されており、その整備によって特定地域の利便性、快適性が著しく向上するため当該利益を受ける者に対して、その利益の範囲内で事業費(公費)の一部負担を求めることにより、負担の衡平を図りつつ下水道事業の進捗を目指す。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	01	目	01	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		952	435	647	647	0							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00						
			総額(B)	千円	3,978	3,794	3,966	3,916	0						
		総事業費(A+B)		4,930	4,229	4,613	4,563	0							
		特定財源(C)		4,796	4,151	4,357	4,563	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	4,796	4,151	4,357	4,563	0							
		市負担(D)		134	78	256	0	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	134	78	256	0	0							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		4,930	4,229	4,613	4,563	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 公共下水道が整備されることにより、その利益を受ける土地所有者等に下水道建設事業費の一部負担を求め、下水道整備の進捗を図る	目標値	(単位:件)	253.00	260.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	224.00	216.00		
			達成度(%)		88.5	83.1		
	目標値の積算方法	当該年度請求の全件	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18.88	21.36	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
の3が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	下水道整備に係る建設費用の一部負担を求め、建設費用に充当している。			達成状況	下水道整備に係る建設費用に充当することで下水道整備に資するとともに衡平な管理を図っている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>受益者負担金事業は都市計画法第75条に基づくものであり、下水道事業管理者である市が行わなければならない事業です。また、事業計画区域内の下水道事業によって著しく利益を受ける土地所有者等に下水道の建設事業費の一部を負担させることができるものであり、民間等に委託することはできません。以上のことから、「継続」とします。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	受益者負担金事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00756				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00756
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

申告書、台帳、納付書等の様式を統合し、発注品目を減らす。
 特殊な形状の備品を廃止し、標準品を利用することで発注単価を引き下げる。
 手書きから印刷に変更することで、人的コストを削減する。
 効果見込額は10年間の削減効果の平均で142千円。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>近年、賦課対象者の多くが一括により納付をされており、滞納者についても督促・催告等を定期的に行うことにより徴収率の向上に努めています。 また、負担金額が高額となる賦課対象者については、賦課前年度に受益者負担金についての制度説明等の案内文を事前送付し理解と準備を求めています。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	公共下水道計画・認可事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	徳寄 岳広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	下水道浸水被害軽減総合計画の策定に伴う変更および、改正下水道法に基づく記載事項の追加。											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	都市計画法・下水道法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市公共下水道計画区域											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	法に基づいた計画を策定し、本市の公共下水道事業の方向性を示す。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公共下水道事業が計画的に執行され、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全など、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちが実現できる。												
(7) 事業概要	下水道事業計画の策定を行い、都市計画法及び下水道法の事業認可を取得する事で、法に基づいた下水道施設の整備が実施できる。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	02	目	01	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		11,492	9,082	23,805	15,095	0							
	人件費	職員数	7.90	7.90	7.90	7.90	0.00							
		総額(B)	千円	62,853	59,946	62,663	61,865	0						
	総事業費(A+B)		74,345	69,028	86,468	76,960	0							
	特定財源(C)		68,657	64,504	78,560	76,960	0							
	(内訳)	国	0	0	7,500	5,500	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	68,657	64,504	71,060	71,460	0							
	市負担(D)		5,688	4,524	7,908	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	5,688	4,523	7,908	0	0							
		一般財源	0	1	0	0	0							
財源計(C+D)		74,345	69,028	86,468	76,960	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社 日水コン										
			②											
			③											
	主な委託内容		内水浸水想定区域図作成業務委託											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	下水道人口普及率	目標値	(単位: %)	100.00	100.00	0.00
			実績値	(単位: %)	99.92	99.92	
			達成度(%)		99.9	99.9	
	目標値の積算方法	実処理人口/行政人口	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		690.83	778.20
				一般財源(単位: 千円)		0.01	0.00
			達成度(%)		99.9	99.9	
②	指標内容	雨水整備率	目標値	(単位: %)	100.00	100.00	0.00
			実績値	(単位: %)	53.72	53.89	
			達成度(%)		53.7	53.9	
	目標値の積算方法	10年確率整備区域/下水道計画区域	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		1,284.96	1,442.90
				一般財源(単位: 千円)		0.02	0.00
			達成度(%)		53.7	53.9	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00
	一般財源(単位: 千円)					0.00	0.00
	達成度(%)			0.0	0.0		
	②			指標内容	目標値	(単位:)	0.00
		実績値	(単位:)		0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位: 千円)				0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	公共下水道事業が計画的に執行され、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全など、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちの実現。			達成状況	計画に基づいた整備を実施した事で、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全などを適切に進めることができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>公共下水道は、市民が安心・安全で快適な生活を送るために必要不可欠な都市基盤であり、未整備箇所における普及促進だけでなく、整備済施設の機能を維持するために更新や長寿命化などの老朽化対策を行うことが重要である。あわせて多様に変化する市民ニーズ・自然環境などに対応した環境対策や災害対策としての整備も求められている。公共下水道計画・認可事業は公共下水道事業の根幹である事業計画を担うものであり、その方向性を定めていく上で必要不可欠なものとなっている。今後も様々な変化する社会情勢に本市の下水道事業を対応させることや、状況に応じて効率的・効果的に事業の実施を進めるために下水道事業について部分的又は全体的に見直しを図りつつ、継続的に実施する事が必要である。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	公共下水道計画・認可事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00758				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00758
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

(2)有効性③について、下水道人口普及率99.9%に比べ雨水整備率は53.7%と低いが、目標を達成するまでには相当の期間を要するもので、長期的な観点では進捗率は低いものの、段階的整備の経過としては概ね良好な進捗率であるので「目標を下回っている」のではなく「目標どおりの進捗状況」とした。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>評価結果は、概ね良好である。</p> <p>本市公共下水道事業は昭和34年に着手し、汚水整備については平成27年度末時点で人口普及率は99.9%に達している一方、雨水整備については現時点では半分程度の達成率となっている。ただし、目標達成には相当の期間と膨大な事業費が必要であり、全体的な規模からみて概ね良好に進んでいるといえる。</p> <p>公共下水道事業計画の策定については、この間、上位計画や社会情勢・市民ニーズ・環境変化など様々な背景により見直しを進めてきており、変遷スピードが速まる昨今、その的確な対応が課題である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。」

事務事業評価調書

事務事業名	下水道計画支援システム事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	徳寄 岳広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	下水道計画業務の電子化及び情報整理											
(2) 直近の改正	平成27年度													
(3) 根拠法令等	都市計画法・下水道法(左記の法令に基づいた調書作成に、本事業で構築したシステムを使用している)													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	吹田市公共下水道計画区域											
	結果(どのような効果が得られるのか)	吹田市公共下水道事業計画のシステム化(計画書、図面、調書等のデータ化)を行う。												
(7) 事業概要	電子化した情報を一括管理し業務の効率化を図る。													
(7) 事業概要	吹田市公共下水道事業計画策定や調書作成時にシステム化されたデータを用いて、効率的に書類や図面の作成を行う。													
(8) H28事業別予算コード	会計	03	款	01	項	02	目	01	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		145	451	69	69	0							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						
		総額(B)	千円	796	759	794	784	0						
	総事業費(A+B)		941	1,210	863	853	0							
	特定財源(C)		869	985	830	853	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	869	985	830	853	0							
	市負担(D)		72	225	33	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	72	224	33	0	0							
一般財源		0	1	0	0	0								
財源計(C+D)		941	1,210	863	853	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input checked="" type="checkbox"/> その他	内容	機器の修繕												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 電子データによる国や府からの調書件数	目標値	(単位:件)	11.00	11.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	11.00	11.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	電子メールで送られてきた調書の件数を目標値とし、電子メールで回答した件数を実績値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		110.00	78.45	
				一般財源(単位:千円)		0.09	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 図面の電子化	目標値	(単位:件)	14.00	14.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	14.00	14.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	紙ベースの図面を電子データで作成した枚数。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		86.43	61.64	
				一般財源(単位:千円)		0.07	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>下水道事業における計画作成や国・府へ提出する各種調書を作成するためには必要不可欠なツールで、下水道計画業務の根幹を担う基幹システムである。今後も、システムの機能や安全性を継続的に維持するために、システムを構成するソフトウェアのバージョンアップやハードウェアの更新が必要であるが、効率的・効果的に実施するために計画性をもって進めなければならない。</p> <p>「なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。」</p>					

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	下水道計画支援システム事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00759				

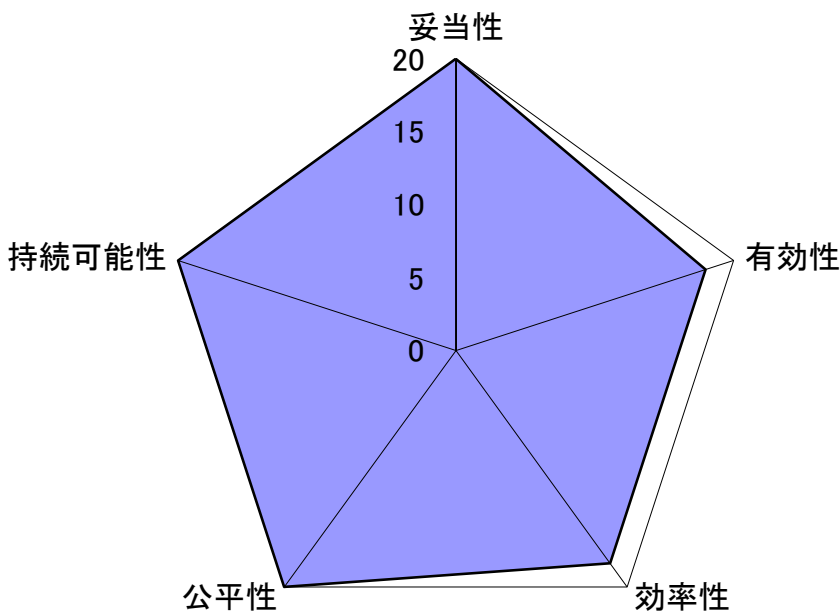
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00759
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>評価は総合的に良好な結果であり、特に問題はないものとする。今後、老朽化やセキュリティ対策におけるシステムのバージョンアップや更新を進めていくにあたり、安全で効率的な運用を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。」

事務事業評価調書

事務事業名	流域下水道維持事業(下水道特別会計)				
担当部署	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	大阪府が維持管理する流域下水道施設に係る維持管理負担金の分担率の変更。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	下水道法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	中央処理区から排除される雨水及び汚水。												
	目標 (どうい状態にしたいのか)	大阪湾等の公共用水域の水質環境基準達成と流域内の生活環境の改善を図るため、複数の市町村から排除される雨水と汚水を広域的に集約し、効率的に処理する。												
結果 (どのような効果が得られるのか)	公共用水域の水質保全と流域内の生活環境の改善が図られるとともに、処理工程で生じる汚泥の適正な処分を行うことができる。													
(7) 事業概要	流域下水道を維持管理する大阪府に対し、吹田市の流域関連公共下水道から流入する水量等に応じて流域下水道施設の維持管理費を負担する。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	04	目	01	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,017,677	924,625	994,158	975,698	0							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						
		総額(B)	千円	796	759	794	784	0						
	総事業費(A+B)		1,018,473	925,384	994,952	976,482	0							
	特定財源(C)		954,278	861,373	922,549	976,482	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		954,278	861,373	922,549	976,482	0						
	市負担(D)		64,195	64,011	72,403	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		64,195	64,011	72,403	0	0						
一般財源		0	0	0	0	0								
財源計(C+D)		1,018,473	925,384	994,952	976,482	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府										
			②											
			主な委託内容	流域下水道の維持管理。										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先		①										
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 流域下水道へ接続している区域での水洗化率	目標値	(単位: %)	100.00	100.00	/
			実績値	(単位: %)	99.01	99.05	
		達成度(%)		99.0	99.1		
	目標値の積算方法 上記区域内における水洗化人口÷上記区域内人口	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	9,346.37	9,858.58		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	流域下水道を維持管理する大阪府に対し、吹田市の流域関連公共下水道から流入する水量等に応じて流域下水道施設の維持管理費を負担する。	目標	流域下水道の維持管理経費の応分の負担を行い、流域下水道の円滑な事業運営を実現する。			
	②	成果内容	相応の経費を負担することにより、大阪府にて施設の運営が適切に行われることとなり、結果、公共用水域の水質保全と流域内の生活環境の改善が図られる。	達成状況	負担金を支払うことにより円滑に事業運営されている。		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	河川、湖などの水域は、多くの場合、複数の市町村にまたがっており、流域下水道はそれらの水域の水質を良好に保つために、都道府県が設置・管理をし、市町村の枠を越え、広域的かつ効率的な下水の処理、排除を行っていることから継続して維持管理費を負担するものです。 なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。					

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	流域下水道維持事業(下水道企業会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00760				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00760
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five criteria on a scale of 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性 (10), 有効性 (15), 効率性 (15), 公平性 (10), and 持続可能性 (10).</p>		
(3)現状分析	<p>吹田市安威川流域関連公共下水道区域は、大阪府安威川流域下水道区域内であり、本市下水道区域(3,582ha)のうち、約6割にあたる2,221haをカバーしています。流域下水道を維持管理する大阪府に対し、構成各市町が事業の効率的な運営と経費節減に取り組むよう協議することにより、スケールメリットを活かしつつ効率的に事業運営されていると判断します。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	流域下水道建設事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	徳寄 岳広

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和42年	改正 内容	安威川流域下水道並びに淀川右岸流域下水道の建設負担金及び維持管理負担金に関する協定書											
(2)	直近の改正	平成28年度													
(3)	根拠法令等	都市計画法・下水道法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input checked="" type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市安威川流域関連公共下水道区域(大阪府安威川流域下水道区域に含まれる)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	大阪府安威川流域下水道施設(管渠・処理場・ポンプ場)の整備を継続的に進める。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	必要な施設整備や改築が実施され、生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全など、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちが実現できる。												
(7)	事業概要	大阪府安威川流域下水道の整備に係る建設費の市町村負担分を「安威川流域下水道並びに淀川右岸流域下水道の建設負担金及び維持管理負担金に関する協定書」により公平性が保たれた費用負担割合に基づき関連市が負担する。 流域下水道事業は単独公共下水道事業に比べ、広域的な下水道処理施設の整備を行う事によりスケールメリットが働くため、効率的で経済的な整備ができる。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	03	款	01	項	04	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		154,486	138,452	67,768	83,270	0							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						
			総額(B)	千円	796	759	794	784	0						
		総事業費(A+B)		155,282	139,211	68,562	84,054	0							
		特定財源(C)		796	971	794	2,054	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	796	971	794	2,054	0							
		市負担(D)		154,486	138,240	67,768	82,000	0							
		(内訳)	地方債	154,400	137,500	66,800	82,000	0							
			その他	86	740	968	0	0							
			一般財源	0	0	0	0	0							
財源計(C+D)		155,282	139,211	68,562	84,054	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府										
				②											
				③											
		主な委託内容		大阪府安威川流域下水道の建設事業											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 吹田市安威川流域関連公共下水道面積普及率	目標値	(単位: ha)	2,220.62	2,220.62	0.00
			実績値	(単位: ha)	2,137.12	2,137.72	
		達成度(%)		96.2	96.3		
	目標値の積算方法 吹田市安威川流域関連公共下水道区域実処理面積÷吹田市安威川流域関連公共下水道区域面積	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	65.14	39.32		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位: 千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位: 千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	広域的な下水道施設整備による効率的な下水道事業の運営。			達成状況	下水道処理施設の老朽化対策(改築)など必要な建設事業を流域下水道事業として広域的に実施する事で建設経費の削減を実施できた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	<p>大阪府安威川流域下水道区域の一部である吹田市安威川流域関連公共下水道区域は、本市下水道計画区域3, 582haのうち、約6割にあたる2, 221haをカバーしている。</p> <p>今後も継続的に流域下水道事業の建設費に対して負担していくことになるが、事業の継続にあたり、関連各市と協力して流域下水道の事業について、より一層効率的な実施を大阪府に求めていかなければならない。</p> <p>「なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。」</p>					

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	流域下水道建設事業(下水道特別会計)	事業区分	建設事業
事務事業番号	00761				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00761
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

公平性(4)①サービスを提供している範囲について
 下水道の建設事業は市の区域によって市単独で行っている単独公共下水道と、大阪府が行っている流域下水道とに分類しており本事業は、そのうち流域下水道事業に必要な建設費を関連市町の適正な負担割合に基づいて、関連市町と同様に本市が負担を行っているものである。事業費については流域下水道に特定しているものの、サービスを受ける市民の観点からは、在住しているエリアが単独公共下水道区域、流域関連公共下水道区域に関係なく同等のサービスを受けているので、サービスの対象範囲は適正であると考え、「特定の者を対象」ではなく「不特定多数を対象としている」とした。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>評価結果は良好である。流域下水道として広域的に下水道事業を実施することにより、維持管理経費だけではなく建設費についてもスケールメリットによる費用の効率化が図られていることから、その有効性、効率性、妥当性については適正である。また、下水道は、市民が安心・安全で快適な生活を送るために必要不可欠な都市基盤であるため持続可能性も高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規則等)を適用し、企業会計に移行しました。」

事務事業評価調書

事務事業名	元金償還事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	なし。					
(2) 直近の改正	なし							
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章 06	安全で魅力的なまちづくり	節 02	細節 70				
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どうい状態にしたいのか)	範囲等	公共下水道・流域下水道事業に係る長期債。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期債元金の適正な償還。						
	下水道事業の適正な財政運営。							
(7) 事業概要	公共下水道・流域下水道建設事業に係る長期債借入により発生する元金償還。 【平成29年度より企業会計に移行】							
(8) H28事業別 予算コード	会計 03	款 02	項 01	目 01	大事業 01	中事業 01	小事業 01	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		3,611,964	3,611,963	3,640,408	3,640,408	0	
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00
		総額(B)	千円	796	759	794	784	0
	総事業費(A+B)		3,612,760	3,612,722	3,641,202	3,641,192	0	
	特定財源(C)		645,580	769,943	1,807,900	3,641,192	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		645,580	769,943	1,807,900	3,641,192	0
	市負担(D)		2,967,180	2,842,779	1,833,302	0	0	
	(内訳)	地方債		1,100,900	976,500	0	0	0
		その他		1,866,280	1,866,279	1,833,302	0	0
		一般財源		0	0	0	0	0
財源計(C+D)		3,612,760	3,612,722	3,641,202	3,641,192	0		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	下水道特別会計債残高。	目標値	(単位:千円)	44,715,733.00	41,549,825.00	0.00	
			実績値	(単位:千円)	43,744,433.00	41,233,625.00		
			達成度(%)		97.8	99.2		
	②	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.08	0.09	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	-	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:-)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
		目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	建設事業に係る長期借入により発生する元金償還。	目標		長期借元金の適正な償還。			
			実績		適正な元金の償還及び事業の運営を行っている。			
			達成状況					
	②	下水道事業の適正な財政運営。	目標	(単位:-)	0.00	0.00	0.00	
			実績	(単位:-)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
③	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>下水道事業に係る建設事業には多額の費用がかかります。そこで事業の円滑な実施のために市債の借入をして所要財源を調達し適正な償還を行っています。また、下水道建設債の償還年数は概ね30年とされており、将来便益を受けることとなる後世代と現世代の住民の世代間の公平性も保て、円滑な事業実施に必要なものです。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>					

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	元金償還事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00762				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00762
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建設事業の財源としてこれまで借り入れた起債について、借入時の償還計画に基づいて適切に順次償還しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	長期債利子償還事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	吹田市市債条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どうい状態にしたいのか)	範囲等	公共下水道・流域下水道事業に係る長期債。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	長期債利子の適正な償還。												
	下水道事業の適正な財政運営。													
(7) 事業概要	公共下水道・流域下水道建設事業に係る長期債借入により発生する利子の支払い。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8) H28事業別 予算コード	会計	03	款	02	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,290,936	1,246,726	1,152,553	1,113,402	0							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						
		総額(B)	千円	796	759	794	784	0						
	総事業費(A+B)		1,291,732	1,247,485	1,153,347	1,114,186	0							
	特定財源(C)		635,831	605,617	572,724	1,114,186	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		635,831	605,617	572,724	1,114,186	0						
	市負担(D)		655,901	641,868	580,623	0	0							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		655,901	641,868	580,623	0	0						
		一般財源		0	0	0	0	0						
財源計(C+D)		1,291,732	1,247,485	1,153,347	1,114,186	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	下水道特別会計債残高	目標値	(単位:千円)	44,715,733.00	41,549,825.00	0.00
			実績値	(単位:千円)	43,744,433.00	41,233,625.00	
			達成度(%)		97.8	99.2	
		目標値の積算方法	-	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.03	0.03
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:-)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		-	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:-)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	-	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:-)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
目標値の積算方法		-	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容	建設事業に係る長期借入により発生する利子償還。		目標	長期借利子の適正な償還。	
	②	成果内容	下水道事業の適正な財政運営。		達成状況	適正な利子の償還及び事業の運営を行っている。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>下水道事業に係る建設事業には多額の費用がかかります。そこで事業の円滑な実施のために市債を発行し所要財源を調達し適正な償還を行っています。また、下水道建設債の償還年数はおおむね30年とされており、将来便益を受けることとなる後世代と現世代の住民の世代間の公平性も保て、円滑な事業実施に必要なものです。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	長期債利子償還事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00763				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00763
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes representing different evaluation perspectives. The vertical axis is '妥当性' (Appropriateness) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness). The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency). The bottom-left axis is '公平性' (Fairness). The left axis is '持続可能性' (Sustainability). The area between the axes is shaded blue. The scores are approximately: 妥当性: 10, 有効性: 10, 効率性: 5, 公平性: 5, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	<p>建設事業の財源としてこれまで借り入れた起債について、借入時の償還計画に基づいて適切に順次償還しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	一時借入金利子償還事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	高田 広

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし。											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市市債条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	歳計現金を繰替運用した際に発生する利子。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	歳計現金を繰替運用した際に発生する利子の適正な支払い。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	下水道事業の適正な財政運営。												
(7)	事業概要	事業の財源となる補助金や起債は事業完成後の支払いにあわせて即収納されるわけではないため、各事業の支払い時に、一時的に歳計現金が不足した場合の繰替運用した際に発生する利子を支払う。 【平成29年度より企業会計に移行】													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	03	款	02	項	01	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		185	0	185	0	0							
		人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.00						
			総額(B)	千円	796	0	794	0	0						
		総事業費(A+B)		981	0	979	0	0							
		特定財源(C)		796	0	794	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	796	0	794	0	0							
		市負担(D)		185	0	185	0	0							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	185	0	185	0	0							
一般財源	0		0	0	0	0									
財源計(C+D)		981	0	979	0	0									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 一時借入額。	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:-)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容 一時借入額。	目標値	(単位:-)	0.00	0.00	
実績値			(単位:-)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容	歳計現金を繰替運用した際に発生する利子の適正な支払い。		目標	各事業の支払い時に、一時的に歳計現金が不足した場合の繰替運用した際に発生する利子を支払う。	
	②	成果内容	事業の財源となる補助金や起債は事業完成後の支払いにあわせて即収納されるわけではないため、繰替運用を行うことにより各事業の支払い時に一時的に歳計現金が不足することを防ぐ。		達成状況	ここ数年下水道事業の適正な財政運営を図るなかで利子の支払に至っていない。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>事業の財源となる補助金や起債は事業実施後の年度末に入ってくるため、会計年度内に一時的に資金不足が発生します。本事業はその資金不足を補うための借入金に係る利子の支払いであり、円滑な事業実施に必要なものです。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとします。</p>				

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	一時借入金利子償還事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00764				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	下水道経営室	事務事業番号	00764
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歳計現金が一時的に不足し、繰替運用を行ったときに発生する利子に対して、適切に償還しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

事務事業評価調書

事務事業名	地方公営企業法適用事業(下水道特別会計)				
担当部名	下水道部	室課名	下水道経営室	室課長名	齋藤 浩之

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正内容	行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律四五条による改正				
(2) 直近の改正	平成26年度						
(3) 根拠法令等	地方公営企業法						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	02	細節	70
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他		
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	下水道事業				
	結果(どのような効果が得られるのか)	平成29年度から下水道事業に地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、公営企業会計へと移行する。					
(7) 事業概要	平成29年度から下水道事業に地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、公営企業会計へと移行するために必要な業務を行う。また、移行後に新たに生じる事務を適正に処理する。						
(8) H28事業別予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	45,784	41,449	0
	人件費	職員数	0.00	0.00	3.00	3.00	0.00
		総額(B)	0	0	23,796	23,494	0
	総事業費(A+B)		0	0	69,580	64,943	0
	特定財源(C)		0	0	69,580	64,943	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	69,580	64,943	0
	市負担(D)		0	0	0	0	0
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	
財源計(C+D)		0	0	69,580	64,943	0	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株NJS 大阪総合事務所			
			②				
			③				
	主な委託内容		公営企業会計移行事務支援				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	公営企業会計への移行に向け、庁内調整、会計システム構築、条例等の制定・改廃、打ち切り決算、新予算の編成など必要な業務を行う。また、移行後に新たに生じる事務を適正に処理する。			目標	平成29年度から公営企業会計へ移行する。また、移行後も滞りなく下水道事業を執行する。
	②	成果内容	平成29年度から下水道事業に地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、公営企業会計へと移行する。			達成状況	平成29年度から公営企業会計へ移行。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>本事業は、平成29年度からの公営企業会計移行を主たる目的としているため、本来であれば移行に伴って事業を廃止すべきところですが、打ち切り決算や各種届出など移行業務の一部が平成29年度にも残ることや、例月監査や業務状況の公表、企業会計方式での事務執行など、移行に伴って新たに生じる業務があることから、移行事務支援業務の委託期間を平成29年9月末までとしているため、平成29年度までは事業を継続するものとし、平成29年度末をもって事業を廃止するものです。</p> <p>なお、下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。これに伴う予算の再編等により、事務事業評価の継続性を確保できないため、平成29年度に係る記載欄については記載なしとしています。</p>				

事務事業分析シート

所属名	下水道経営室	事業名	地方公営企業法適用事業(下水道特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	01320				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	下水道経営室	事務事業番号	01320
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度から下水道事業に地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、公営企業会計へと移行したことにより、事業の大きな目標は達成したものと考えています。今後は、地方公営企業法に基づき、適正な事務執行に努めます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

下水道事業は平成29年度から地方公営企業法の一部(財務規定等)を適用し、企業会計に移行しました。

平成26年8月に「公営企業会計の適用拡大に向けたロードマップ」が、平成27年1月には「公営企業会計の適用の推進について(要請)(総務大臣通知)」が出され、人口3万人以上の市区町村等については、平成32年4月までに公共下水道、流域下水道、簡易水道事業の各事業で公営企業会計への移行が必要とされました。